

かさおか

発行所
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)
電話 66-1311
FAX 66-1314



初代の心にかえり信仰の喜びを
深めよう 伝えよう 広げよう
一、持ち場立場で日々理作り
一、家族揃って教会参拝
一、一日一件にをいがけ

立教173年
10月号

親神様の神名が津々浦々に！

まず教会長が先頭に立って

立教173年全教一斉にをいがけデー

「9月はをいがけ強調の月」——— 立教173年

「全教一斉にをいがけデー」が9月28日から30日まで実施された。これは年に一度、地域に住むお互いが力を合わせ、一手一つに心を揃えて親神様の神名、お道のにをいを広めていこうというもの。28日、29日、30日は支部を中心に全よふぼくが、をいがけ活動を展開し、28日は「教会長路傍講演の日」として全教会長の参加を目指して実施。

同デーは、教祖50年祭、立教100年祭に向かう両年祭活動中の昭和7年に「全国一斉路傍講演デー」として始まり、今年で78回目。「教会長路傍講演の日」は4年目。全教会長がよふぼく、信者の先頭に立ち親神様のお話しを世界の人々に伝えようというもの。

大教会につながる各教会、よふぼくも「陽気ぐらしは、人を思いやる心から」のチラシを手に支部、教会ごとに各地で参加、実動。

期間中、島根分教会関係の教会の実動取材した。

教会長路傍講演

SANIN(山陰)



出雲川津分教会 仙田勉会長
島根教区東部支部に属する出

雲川津分教会は、松江市のほぼ中央を東西に流れる「宍道湖からの大橋川」を境に、橋北組での一斉活動でした。当日は、16教会の組内から毎年、互選で弁士を決めます。仙田会長は昨年講演をしたので当日はリフレットの配布を担当しました。また教会では、年配者の人達5〜6人とともに、年齢相応の枚数を配って頂いた。日頃の活動は、世代交代のハザマで苦慮しながら、前任会長時代から「陽気」10冊の購読を皆で続けている。最近では、次世代の若者に折事毎に手渡しで差し上げて居られます。祭典の御下がりをお届けするタイミングも大切にしている、大教会からの時報の増部提案にも考慮して毎週の繋がりを図りたい…。と意欲的な姿勢です。



弓ヶ浜分教会 森川弘志会長
いま「ゲゲゲの女房」で一躍有名になって「水木しげる妖怪ロード」でも賑わっている鳥取県境港市の誠道町で、支部の「よのもと会」

のうち、8箇所の教会が結成する弓ヶ浜組で活動した。約40分間、1人4〜5分の路傍講演を勤められました。森川会長は、自作のチラシ(A5版)に教会名・会長名・連絡先を明記した物を近在に配布しています。時々電話で連絡があり「家族で読んでいるよ、良い事書いてあるので楽しみです」との反響が多数。

地域民生児童委員・米子市少年指導委員・自治会長・校区自治連合会副会長、等々を受け持ち、地域に密着した奉仕活動を展開しています、明るい笑顔と笑い声が特徴の森川会長、就任4年のこれからの期待が膨らみ、後継者夫婦と可愛い孫さんの居る教会生活、夫婦揃って勇んで居られ、教会の鏡と感じた。…過言ではない。



声、高らかに路傍講演をする参加者

こんな人が…

雲南市大東町の高島京子さん(出雲分教会前任者・77歳)は「全教一斉にをいがけデー」には、同乗して奥地?へ、町内でありながら何処の教会からも届かない地域へ歩き配布して回ったのです。

日頃から「陽気通信」を地域一帯に歩いて届けている。教友8人に声をかけて仲間意識をもって50部のチラシ

を蒔いて居られます。中には「持病から体調が優れず、天理時報の購読もままならないが、歩く事で健康維持に30部」と言って木次町で配布する男性に勇気付けている。又、以前同じ町内で住んでいた人が移転された家に配布した時、お茶を御馳走になり親しいとは言え「陽気通信」を心待ちにして読んで頂いている事を知り、この10数年間続けてきて良かったなあと感慨深

かったなあと感慨深
いものを感じたそうだ。
そうした中から相談を
受けたり、遂には教会
へ…と…夢うつつ
の手渡しを続けている
そうです。

境内地植木剪定ひのきしん

管理部

大教会管理部(岡崎和夫部長)では10月6日から8日まで境内地植木剪定ひのきしんを行った。

大教会創立120周年記念祭を来年に迎える準備の一環として行われたもので、連日、10人余の参加者があり、松、さつき、まめつげ、檜、かいづかなどが丁寧に刈り込まれた。当初は9日までの予定だったが、8日午後からの雨のため、まだ未剪定の木が多く残っている。次回は11月6日から9日までで予定している。



東悠分教会前会長夫人

田林 美智子

コスモスを楚楚と生けるや備前焼
野辺の菊七母を偲びて小袖かな

▼表紙の絵

神辺分教会 よふぼく

小坂道利さん

立教173年 こどもおぢばがえり 帰参者数

ブロック別	少年会員	育成会員	計
東ブロック	218名	120名	338名
西ブロック	27名	24名	51名
福山	117名	68名	185名
高屋	298名	109名	407名
島根	120名	74名	194名

ブロック別	少年会員	育成会員	計
久松	76名	38名	114名
上下	35名	36名	71名
府中市	37名	19名	56名
合計	928名	488名	1416名
オレンジカード分		105名	1521名
詰所ひのきしん・日帰り(受付に出していない)			

「朝起き・正直・働き」は教えの宝物

母親講座・後継者講習会 開催

婦人会笠岡支部(上原きよ子支部長)は9月23日、大教会で中島道治天理教養徳院院長を講師に迎え「母親講座・後継者講習会」を開催、71人(後継者17人)が参加した。



手振りを交え熱弁される中島先生

日々の生活の中から、母親として子どもにお道

後継者の丹精も兼ねて実施された。

上原きよ子同支部長は、まず婦人会本部が子どもが一番影響を受けやすい母親が、お道の信仰を次の代に伝えていけるよう母親講座の開催を始めた経緯を説明。

次いで「お母さんたちが子どもたちに、日々心の鏡となるよう信仰の中から学んで、その信仰を上手に伝えて欲しい。母親講座で話を聞くだけでは分かりにくいので、今回はお互い心を裸にして胸と胸とで話し合う中から、それぞれの心の育ての役立て、栄養になるものをもって帰って頂きたい」と挨拶。

引き続き講演に移り、中島先生は「子どもの徳分を伸ばす」には――をテーマに、事前に参加者に配布されたテキスト、またプロジェクトを使用し話を進められた。

幼い頃の教会生活から話を起こされ、自身の上、また長年の教職生活の中でのおたすけを通して「病気は陽気ぐらしをする為の神様からのお手引きである。教えの実行のための宝物は『朝起き・正直・働き』にあり、同じ意味合いで『早寝・早起

の信仰をどのように伝えていくか、講座を通して学んでもらいたいとの思いから開かれたもの。後継者講習会は毎年行われているが、今回は若い層の教会

き・朝ご飯』は全国PTA協議会の標語にもなっている。親神様の教えを正直に実行することは困難。それは徳が無いからで、日々徳を積む(陰の徳)たとえば簡単なことではあるが履物を揃える、ゴミを拾う、トイレ掃除など)ことが大切であると話された。

最後に「子どもの徳を伸ばすには、ライフスタイル(生活習慣)を整えること。その為に大切なことは『朝起き・正直・働き』の実行」を再度、強調され「人の世話をさせてもらうことが、結果として自分を変え、また変っていく」と結ばれた。

午後からは、皆が発言しやすいようにと、お茶を飲みながらの茶話会形式で参加者を後継者3班、一般5班(各班6名)に分け、司会者を中心に○講話の感想 ○教会生活を通しての子育て ○日々の悩み――などについて活発な話し合いが行われた。参加者は、道の後継者を育てる上での母親の役割の重要性を新たに閉会した。

母親講座に参加して・・・

福山分教会 田中照江

三十年以上も前：教室の教壇を所狭しと歩き回り、身振り手振りを交えて親神の想いや教祖の親心を、時には涙を滲ませながら熱く語り、信仰の素晴らしさや喜びを伝えてくれていたエネルギー

溢れる姿は、年月が経った今も全く変わりがありませんでした。

この度の講師の中島先生は、私が天理小学校の六年間、『教義』を教えて下さった恩師で、教義を解りやすくかみ砕いて教えて下さり、(時々授業もせず『陣取り』や『ドッチボール』などをしてくれる先生でしたが)私が神様を大好きになっただきっかけをつくり、また、講話の内容通り、私たち子どもをいつも暖かな笑顔で見守り導いて下さった方でした。その教えは私の心の支えでもありました。

偏見の無い親心いっばいの目で、子どもの個性を尊重しつつ、けれども揺るぎない信仰心を伝えようとされる先生の姿は、私が親とならせていただいた今となっては本当にありがたい手本となっています。

借り物の身体が健やかであること：

『有る』事が『難しい』筈の奇跡の中で生かされていく事への心からの『ありがとう』

種を蒔くということ：

私が知っているといるということは神も知っているという心強さ：

私自身が教え伝えられ、涙が出るほどの喜びと感謝を持ったことを、私の子ども達にも『伝えた』と思えました。この度は素晴らしい機会をありがとうございました。

天理時報普及活用を!!

本部布教部と道友社がおたすけ活動の一環として天理時報の積極的な普及活用と、手配り活動を通してよふばくネットワークづくりを呼びかけている中、大教会でも8月21日「布教推進講習会」を開催。

講習を受け、天理時報を通したおたすけ活動の推進を目指し、各教会2部増部を打ち出した。

増部・普及に向けて活動する教会の取り組みを聞いた。

●「天理時報の普及活用を」に思う

「天理時報手配り運動の推進」という声を聞いて4年になると思う。全教的にその動きは活発化して、現在全教で45%強の手配り率になってきています。

所属教会から離れた信者宅に教友が毎週天理時報を届けて頂き、時として声を掛けて頂けることはとても有り難いことである。

天理時報手配りの目的は道の教友のネットワークづくりにあります。同じ地域に住む教友が系統・所属教会を越えて共にたすけ合い、切磋琢磨しながら成人の道を共に歩けるようになることが目的であると思っております。そのためのも道具が天理時報であったと…

当然、そこにはそれを届けるひのきしん者がいる。その人たちがこのネットワークづくりには欠かせないものだと考えるし、その人たちこそが手配りを通して成人していける人だと思います。

人材育成で考えることは、いかに多くの方が主催者側に立てるか、物事を考え、創る側に立つことが人を成長させることだと私は思っています。

これらの事を考えながら、天理時報手配り推進を構築するには、手配りひのきしん者を増員し、各よふばく家庭に天理時報の購読をしていただくことが大切だと思います。

K・T

よふぼく大会開催

創立120周年に向け

—福山分—

福山分教会(田中隆之会長)では9月19日、「よふぼく大会」を開催した。

この大会は、同教会の伝統的行事であり、来年迎える大教会創立120周年、そして1年後、同教会創立120周年という旬に、同教会に繋るよふぼくが



暑さの残る中、真剣につとめられたおつとめまなび

勇んで歩むことを目指して開かれたもので、今回は立教168年(平成17年)以来5年ぶりの開催。

当日は、おつとめ衣にて神殿に集合、午前9時30分より祭儀式を開始。おつとめは、役員による坐りづとめの後、よろづよ八首・十二下りを部内教会が7組8交代でつとめた。まだ暑さの残る中、汗を拭きながらそれぞれ役割をつとめる真剣な姿が見られた。

おつとめ終了後、田中同会長はあいさつの中で「一手一つに勤めるおつとめと、他人のために取り次がせて頂くおさづけは、親神様の思召し下さる陽気ぐらしの姿である」ことを説いた後、「大教会の創立120周年、福山の120周年を迎えるこの旬は、大きな種を蒔かせて頂ける有難い旬である。共に歩ませて頂くために、このよふぼく大会を決起とさせて頂きたい」と述べ、又、一昨年の節にふれ、親神様の御守護を喜ぶと共に、5月に完成した附属建物の普請の上に寄せられた真実に対する感謝の旨を述べた。

その後、昼食休憩となり、その間、アトラクションとして鼓笛隊の演奏、婦人会によるバザー、又、アルコール・コーヒーコーナーが設けられ、和やかな雰囲気包まれた。

午後1時から、宇恵義昭先生(五條大・共成分教会長)を講師として記念講演が行われ「夫婦のあり方、家族の団欒」について、世相を交えて解り



笑い方指導まであった宇恵先生の講話

やすく話され、又、よふぼくとしてのつとめ方、日々の心遣い、そして笑い方の実演指導もあり、予定の時間を延長する程、内容豊富なものだった。最後に、福島大介同教会布教部長(福満分教会長)が、120周年へ向けての一手一つの歩みと、笠岡一手一つ大会への参加、さらに、全教一斉にをいがけデーへの参加を呼びかけて閉会した。

大会後、5年ぶりの開催ということもあり届かぬ点も多々あったが、おつとめまなび担当の下りを調整する等、今回の反省を活かして、伝統のよふぼく大会をより良いものにしていこう—という声が聞かれた。

目指せ高校チャンピオン

重量挙げインターハイ出場

— 新山邑分・国定和輝君 —

「おめーええケツしとるのー。このバーベル上げてみい！」

国定和輝君(新山邑分・新賀布教所長、国定節喜さんの長男)が笠岡工業高校入学間もない頃、同校牧野ウェイトリフティング部監督からの、この一言で彼の重量挙げ競技が始まった。専門家から見れば、体型で素質が見抜けるのかも。

「おもしろそうなので、まあやってみるか」と軽い気持ちで始めたものの、日に日にその魅力に取り付かれ、気が付けば明けても暮れても重量挙げ、重量挙げの毎日。お陰で勉強は二の次。授業後、3時間余りの猛練習が続く。持ち前の負ん気と努力で大会出場のチャンスを得た。

彼の出場クラスは69kg級(体重によりクラスが分けられている)。規程体重以下での競技のため、大会前はパンをかじり、空腹を抱えて3kg程の減量。岡山県大会で2位。2年生で念願の第52回インターハイ(全国高等学校総合体育大会・本年は沖縄県内で開催)に岡山県代表として出場。

大会ではスナッチ種目96kg、クリーンアンドジャーク種目122kgを上げ堂々の10位。9位とは僅差(重量挙げ競技の場合、同重量を上げても体重の軽い方が上位となる)。体重差に泣いた。来年に向けて頑張れとの神様の親心か？

彼は素直な、また物事に動じない性格だ。

2年前の大教会での少年会おつとめまなび総会の時がそうだった。祭儀式の役割が当たった。今迄に見たことも、したこともないはずなのに「いいよ」と二つ返事。周囲の不安をよそに立派につとめた。夏のこどもおぢばがえり本部少年ひのきしん隊初参加の時もそうだった。

思えば、彼の曾祖父の生き移しのようだ。信仰をはじめ何事に対しても不足を言わず、誠実に実直な人だった。新山邑分教会も現在地に移転(昭和38年)するまでは国定家の一棟を借り、そこに神様を祀らせて頂いていた。

彼のただ一生懸命、少しでも重いバーベルを持ち上げようとする直向な姿に、神様から経験者しか分からないインターハイ出場という大きな“ごほうび”^{ひたむき}を頂いたんだなあと思感している。

彼の所属するウェイトリフティング部は女子部員2人を含め20人。級友でありながらも毎日、し烈な戦いが繰り広げられている。

バーベルを握る目の先に映るのは、表彰台の一番高い所だ。

(記事提供 新山邑分・三島 衛氏)



力強いクリーンアンドジャーク成功
(岡山県大会で)

教会おとまり会の報告

▼吸江隊

実施日	平成22年8月5日・6日
参加者数	少年会員17人(内7人泊) 育成会員11人(内4人泊) 合計28人
プログラム	5日 15:00 受付。 16:00 ゲーム(射的・輪投げ)。 17:30 おつとめの練習 18:00 夕づとめ。 18:30 夕食。 19:00 花火。 20:00 風呂・就寝。 6日 6:30 起床・洗面。 6:45 朝づとめ。 7:15 朝食。 8:00 勉強。 9:30 水泳。 12:00 解散。

所 感 大勢の参加で、にぎやかに過ごさせていただきました。子供達も喜んでいただきありがたく思っています。また、婦人会の方々に布団・食事などのひのきしんをしていただき感謝致しております。来年も同じように開催できたらと思います。

▼芦加茂隊

実施日	平成22年8月6日・7日
参加者数	少年会員10人 育成会員5人 合計15人
プログラム	6日 18:00 集合。 18:30 夕づとめ、お話し。 19:00 夕ごはん(カレー)。 20:00 入浴。 21:00 おたのしみ行事、花火、すいか割り。 22:00 就寝。 7日 5:30 起床。 6:00 朝づとめ、お話し、ラジオ体操。 7:00 朝ごはん(パン)、ひのきしん。 8:00 解散。

所 感 芦加茂分教会設立から毎年つとめて来ていましたが平成14年、身上のため休んで以来8年間、なかなか出来ませんでした。その頃幼児だった子供達が親となり我が子をつれて来てくれるようになりました。
幼児達はとまらず帰りました。実際におとまりした子供は4人です。

▼廣町隊

実施日	平成22年8月5日・6日
参加者数	少年会員5人 育成会員6人 合計11人
プログラム	5日 16:00 神殿に集合、礼拝、あいさつ、約束、おつとめ鳴物練習。 18:00 夕食。 18:30 夕づとめ、教話、ゲーム、花火、入浴。 22:00 就寝。 6日 6:00 起床、洗面、ふとん整とん。 6:30 朝づとめ、ラジオ体操、教会周辺ごみ拾い。 7:00 朝食、後片付け、勉強、ギョウザ作り。 10:00 プール。 12:00 昼食、掃除、参拝、終わのあいさつ。
所感	少年会員は予定の半数でしたが、皆仲良く楽しんでくれた。ゲームには、保育所の子も一緒に仲間に入れてくれて小さい子が大変喜こんだ。それを見て大きい子も大変喜こんでくれた。とても良い光景を見せてもらった。ごみ拾いのひのきしんにも進んでしてくれた。その様子を近所の人達が見て感心してくれました。いつもの行事内容に加えてギョウザ作りをしたらどうかと尋ねたら賛成してくれて楽しんで作成、そして自分達で焼いて食べ、とてもおいしいと格別のおいしさだったようです。食事のひのきしんに親子さんがして下さり、大変嬉しかったです。人数は少なくても、教会の子供との仲が密接になり、教区おつとめ学び總會までおつとめ練習をし、少しでも多く参加してもらえる様丹精させて頂きたいと思います。

▼稲瀬隊

実施日	平成22年8月8日・9日
参加者数	少年会員16人(幼2人) 育成会員7人 合計25人
プログラム	8日 夕勤め～井原花火大会へ。 9日 朝勤め。 6:30 会長あいさつ。 朝食後 女子はおにぎり作り。 9時過ぎより 川に行ってバーベキューの用意。 バーベキューを食べたり泳いだり夕方6時頃 18:30 夕勤め。その後、会長あいさつで終了。
所感	子供達が川で泳ぐのは初めての事で大変喜んで来年も参加したいと云って喜んでくれました。 又、おぢばへ行かない子供も参加してくれました。



▼照雲隊

実施日 平成22年8月6日・7日
 参加者数 少年会員2人 育成会員1人 合計3人
 プログラム 6日 ・集合(迎え)。

- ・参 拝。
- ・町内行事参加。
- ・ゴミ拾い。
- ・就 寝。

7日 ・起床、朝食。
 ・おつとめ練習。
 ・解散(送り)。

所 感 ・参加者が決まらなくて、直前になって2名の参加者ができて、本当に良かったと思います。
 ・町内行事の参加の後に、帰り道でしたが、ゴミを拾って集めることにも、嫌がることなくつとめてくれて、ありがたかったです。
 ・来年も参加したいと言ってくれたことが、一番うれしかったです。

▼東水島隊

実施日 平成22年8月10日・11日
 参加者数 少年会員9人 育成会員10人 合計19人
 プログラム 10日 16:00 集合、参拝、バーベキュー準備。

- 17:00 屋外バーベキュー。
- 18:30 夕づとめ、教話。
- 19:00 花火、自主交流。
- 22:00 消 灯。

11日 5:40 起 床。
 6:00 朝づとめ。
 7:30 朝 食。
 9:00 倉敷ライフパーク見学。
 11:30 昼食(たこ焼パーティー)。
 13:30 参拝、解散。

所 感 昨年より人数も増え、子供達も心待ちにしてきており、「来年、また、こどもおぢばがえりとおとまり会で会おうね。とって別れました。

また、月次祭日の午後からの実施としたため、信者さんの子弟が月次祭のおつとめ奉仕を手伝ってくれ、大変ありがたかったです。

毎年、この日程で実施しようと思います。



▼福昭隊

実施日 平成22年8月10日・11日
 参加者数 少年会員5人 育成会員6人 合計11人
 プログラム 10日 夕づとめ、その後花火をして、食事、風呂、そして就寝。
 11日 月次祭の準備手伝い、月次祭終了後、そうじ、ひのきしん。
 所 感 少年会員が小学生2名、幼児3名と小さいので、育成会員の手伝いがないとなかなか行事が出来ませんが、1年ずつ大きくなるので、今後がたのしみです。

▼香地華隊

実施日 平成22年8月10日・11日
 参加者数 少年会員3人 育成会員4人 合計7人
 プログラム 10日 9:00 集合、三殿礼拝。
 9:30 川遊び。
 12:00 昼食。
 13:00 絵手紙の講習。
 16:30 皆で夕食の準備。
 17:30 夕食。
 18:30 夕づとめ、自由時間。
 11日 7:00 朝づとめ。
 7:30 朝食。
 8:00 宿題・勉強、後川遊び。
 11:30 皆で昼食づくり。
 12:00 昼食。
 13:00～15:00 川遊び(魚つかみどり)
 16:00 解散。

所 感 教会前の川で泳いだり、魚づかみしたり親子で楽しんでくれた。
 又、女の子達は絵手紙の講習がとても楽しかったらしく、いい作品が出来て喜んでいました。

日頃、教会に縁のない生活をしている親子が会長の読むちょっとしたチラシのお話を神妙に聞いてくれて、成程といった感じで、父親が子供に「わかったか？」ときいていたのがほほえましく、又、たのもしくもあった。

子供達は女の子だけあって、食事の準備から後片づけまで率先してやってくれた。



九月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様には「月日にハセかいちううハみなわが子かハいい、ばいこれが一ちよ」との親心のまに、天然自然のお働きと身体を御守護下され 日々は結構に恙なくお連れ通り下さいます 事は誠に有難く勿体ない極みでございます 中でも今は昼間の暑さも和らぎ 風も爽やかにそして朝晩はすっかり涼しくなり 作物も競うように収穫の時期を迎え 身体にも心にもやさしい季節となつて大変喜ばせて頂いております

私共は日々喜び感謝の心一杯に 朝夕に御礼申し上げると共に 御恩報じを思い念じてにをいがけ 強調月とお声に添うべく たすけ 一条の御用の上に勤め励ませて頂いております

その中にも今日の吉日は九月の月次祭を執り行う目出度い日柄でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同 喜び心も一入に明るく陽気に勇んで坐りづとめてをどりをつとめさせて頂きます 御前には遠近を問わず 今日の日を楽しみに寄り集いました道の子供達が 相共にお歌を唱和し 日頃の御高恩に改めて御礼申し上げます 尚も変わらぬ親心にお継りする皆の真実の状を御覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて実りの秋を迎え 心も豊かになるべきはずが 世上では経済や政治の先行きが見えず 多くの人が不安にさいなまれています こんな時こそ親神様を知り御守護の有難さに浴して頂かなければなりません 月末の全教一斉にをいがけデーにはよふぼく一同 親の思いに心を一つに揃えてにをいがけに邁進させて頂く所存でございます

又来月は秋季大祭月でございますので 直轄教会に大祭参拝をさせて頂きます 立教に込められた親の思いを取り次がせて頂き 共に本年のこれまでの成人の歩みを振り返り よふぼくとしての自覚を高め 創立百二十周年記念祭に向けて笠岡一手一つ大会等 時句の御用に邁進する事を誓い合わせて頂く所存でございます

何卒親神様には日々の理作りに励み 家族揃って信仰を求め 一人でも多くとのたすけ心をつくす 皆の誠真実の心をお受け取り下さいますとして 身上事情のたすけを通して 荒びがちな人々の心までおたすけ下され お望み下さる陽気づくめの世の状が一日も早く実現しますようお導きの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

▼立教174年版 本誌の顔

来年の表紙を飾ってくださる野津さんを紹介します。

書道家の野津正樹さんは、「還暦を迎えた一つの区切り」として昨年の10月に、島根県立美術館で個展を開催されました（昨年11月号記事掲載）。

以来、一層の精進と意欲的な活動を展開しておられ、現在約40余名のお弟子さん達にそれぞれの教室を持ち「上級者」へ育成。日本書道協会の役員を務める立場として、高弟を伴い、東京本部での会議は欠かすことの出来ない毎月の役職であるのです。「かさおか誌」へのご寄稿は「墨の濃淡と“裏打ち!”」をするので2～3作を一つのテーマで書き上げ、四季折々の書に仕上げたい…」と抱負を聞かせて頂きました。乞うご期待。



書道家 野津正樹さん

秋季霊祭祭文

これの笠岡大教会の祖霊殿にお鎮まり下さいます

本席様の霊 初代真柱様並びに奥様の霊 二代真柱様の霊 大教会創設の祖上原佐吉大人八重刀自の霊 初代会長上原さと刀自の霊 二代会長上原伊助大人光刀自の霊 三代会長上原繁雄大人くに多刀自の霊 四代会長上原郁雄大人の霊 歴代会長と共に笠岡の草創の頃より共に御苦労下さいました役員 部内教会長 よふぼく 信者の霊 諸々の霊の前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

祖霊様方には親神様教祖のお見定めを頂かれ 身上事情を通して早くからこの道に引き寄せられました。夫々に我身我家のいんねん自覚のもと 親心にお応えすべくたすけ一条の御用の上に息の限りとおつとめ下さいました事は 誠に尊く有難い極みでございます。今日お道も結構な姿をお見せ頂いておりますが、これはひとえに親神様教祖の御守護お導きの賜である事は申すまでもございませぬが、又一つには祖霊様方が御恩報じを思い念じて 親孝心一筋に真実の限りを尽くして徳積みをして下さったお陰と、日々朝夕に御礼申し上げております。とりわけ本日は秋の霊祭を執り行う定めの日柄でございますので、今しがたおつとめ奉仕人並びに部内教会長代表 一手一つにてをどりをつとめさせて頂き、引き続き御前に参らせて頂きました。有りし日の面影を偲び御遺徳を称え言改めて御礼申し上げる状を御覧下さいまして、御心をお安め下さいますようお願い申し上げます。さて来年十一月三十日の創立百二十周年記念祭に向け、笠岡に繋がる一同 一手一つの心で成人の歩みを進めさせて頂いております。別席ひのきしん団参 一手一つ大会と順調に歩を進めておりますが、祖霊様方には遅々とした歩みに感じられるかもしれません。あと一年余りとにかく持つてる力を出し切って勤める所存でございますので、何卒祖霊様方には後に続く者の真実心を御心放たずお見守り下さいまして、悔いの残らない喜び一杯の記念祭を迎えさせて頂けますようお願い添えの程を、一同と共に慎んでお願い申し上げます。

◆海外布教推進大会のお知らせ

海外部

11月の月次祭に併せて、海外部は「海外布教推進大会」を開催させて頂きます。当日祭典講話講師に永尾教昭本部准員（本部海外部副部長、ヨーロッパ・アフリカ課長）をお呼びして海外伝道の思いを聞かせて頂きます。多数お誘い合わせの上、御参拝ください。

◆放置自転車などについてのお願い

詰所部

現在、詰所に持ち主、不明の放置自転車が数台あります。整理のため持ち主は11月26日までに教会名、名前を詰所に登録して下さい。不明車は処分します。下駄箱も2年ごとに整理しています。

◆大教会障子張り・年末大掃除

管理部

- * 大教会障子洗い・張りひのきしん
11月 3日～5日
- * 神殿大掃除ひのきしん
12月22日

・原・稿・募・集・

内 容

①小随筆 ②教会・布教所の独自の活動の紹介 ③俳句・和歌・川柳 ④教会行事開催後の報告記事 等々

字 数

1000字前後(800字~1200字) 題名・所属教会名・氏名を明記して下さい。俳句等は1句からでも結構です。

寄 稿 先

下記、大教会内『かさおか』編集掛宛ドシドシご寄稿下さい。

郵 便：〒714-0066 岡山県笠岡市用之江377

FAX：0865-66-1314

メール：tenkasa@yahoo.co.jp

尚、原稿はお返し致しませんので、予めご了承下さい。



※お詫びと訂正

本年9月21日発行の『かさおか 第49巻 第9号』2ページ「布教推進講習会開催」の記事の末尾に「講話の要旨は次号に掲載」としておりましたが、誌面の都合で、勝手ながら割愛させていただきます。

また、5ページ「女子青年の集い開催」の記事中、7行目「1月31日」を「1月30日」に訂正します。

読者の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をお掛けしましたことをお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

大教会だより

◎教会長資格検定講習会修了者

前期 立教173年10月14日終講
久松 中村 好江

◎本部食堂ひのきしん

自 立教173年10月1日
至 立教173年10月15日
府中市 日下 巧



“正しい”おとまり会……ではないが、8月7、8日に町内の子供会のソフトボール部員16名の宿泊をした。監督、コーチ6名も宿泊。夕方集合、夕食のカレーライスから始まり、翌朝の朝食で解散。子ども達は再集合してソフトの練習だ。大変だなあ。カレーの世話にお母さん方(今、サッカーの影響かサポーターと言うそうだ)8名、総員で30名の大所帯になった。この宿泊の出来るのも教会にある岩風呂のお陰だ。岩風呂は教会初代の祖父が身上となり、寝たまま入れるお風呂を造ろうとの思いから、つながる身内総動員で造ったもので、6畳弱程の広さの独立した建物。湯船にラジウム鉱石を埋め込んだラジウム風呂だ。阪神大震災で壊れてから14年振りに昨年暮れやっと修復したもの。今年こそおとまり会をさせて頂こうと思案苦

慮して「そうや、おとまり会の第一歩として町内のソフト部員の合宿をしたらどうか」と思い至った。幸い15年以上前のことだがソフトボールに監督コーチとして24年関わってきた。そのことからか宿泊はどうかと監督やサポーターの皆さんにご相談したとき、話に乗って下さったのかな。また下相談に来られてその岩風呂を見て「これなら」と承知をしてもらったものかなとも思う。岩風呂を造って下さった皆さんのお陰だ。当日、子ども達は夕食に笑顔が弾けている。5、6人ずつに分かれて入浴には大喜びの歓声が漏れてくる。監督達もお酒を山ほど浴びた後、(私も招待してもらってお相伴)お湯を浴びられました。おつとめは夕勤めにお母さん方、8名参拝。(座って見ているだけだった……)朝勤めにはコーチ一人参拝。後の5名は前夜のお酒が抜けず眠ったままだった。来年のおとまり会を約して散会となった。いつか“正しいおとまり会”をさせてもらいたいものだ。